

銀行をこえる銀行へ



# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

【豊栄金属工業 株式会社】

2026年4月30日

紀陽銀行は、豊栄金属工業株式会社(以下、「豊栄金属工業」)に対してポジティブインパクトファイナンス(以下、「PIF」)を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブインパクト(PI)/ネガティブインパクト(NI))を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が提唱したPIF原則およびPIF実施ガイド(モデル・フレームワーク)、ESG金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、紀陽銀行が開発した評価体系に基づいている。

## 目次

### 1. 豊栄金属工業について

(1)企業概要	P3
(2)事業概要	P4
(3)企業・代表者メッセージ	P5
(4)サステナビリティ・SDGsへの取り組み	P6

### 2. インパクトの特定

(1)インパクト分析と目標(KPI)設定について	P7
(2)バリューチェーン分析	P8
(3)インパクトマッピング	P9
(4)豊栄金属工業の事業によるインパクトの特定	P12
(5)日本におけるインパクトニーズの確認	P15

### 3. 目標(KPI)設定について

(1)目標(KPI)設定	P16
(2)モニタリング目標(KPI)の野心性・追加性確認およびモニタリング	P17

# 1. 豊栄金属工業について (1) 企業概要

## <企業概要>

社名	豊栄金属工業株式会社
所在地	大阪府守口市菊水通4丁目5番1号
設立	1961年
代表者名	代表取締役社長 山本 一雅
資本金	4,500万円
従業員数(2025年11月時点)	31名
売上高(2025年11月期)	402百万円
主な事業内容	金属部品のプレス加工、プレス用精密金型設計・製作



## <沿革>

1961年	豊栄金属工業設立 (河内徳丸氏が旧松下電器産業の協力企業として創業)
1963年	旧松下電器産業ラジオ部と取引開始
1970年	現所在地に移転し、QDC (クイック ダイチェンジ) システム装置 導入
1981年	社屋建て替え、自動ラックシステム 導入
2004年	ISO14001(環境マネジメントシステム)認証、ISO9001(品質マネジメントシステム)認証 取得
2007年	車載部品分野に進出
2015年	大阪ものづくり優良企業賞、守口門真ものづくり元気企業 受賞
2021年	SDGs宣言実施
2023年	YAGレーザー350W溶接機導入 (リチウムイオン電池部品の量産化開始)
2025年	脱炭素宣言実施、パナソニックより、「AVIONICS PARTNERS AWARD2025」受賞

# 1. 豊栄金属工業について (2) 事業概要

## <事業概要>

豊栄金属工業は、1961年の創業以来、精密金型の設計・製作、精密板金部品の製造を手掛ける企業である。

同社は、「品質こそがすべて」の信念を持ち、航空機座席モニターの金属板金や業務用プロジェクター部品の製造など、技術力を生かした製品には定評がある。多品種・小ロット生産も、大きな強みである。順送プレス加工により、複雑形状の部品の量産(5,000個以上)にも対応する。取引先は、大手電機メーカー(売上の約7割を占める)や自動車・住宅関連メーカーなど多岐にわたる。

### <①単発型プレス加工>

- ・QDCシステム※の標準化により、段取り時間の短縮、小ロット生産に特化している
- ・弱電部品・車載部品・航空機部品などのプレス加工

※QDC(クイック ダイ チェンジ)システムとは、プレス機の金型を迅速に交換するシステム。金型をマツバクランプやボルトにより固定する方法と比較し、安全に、金型交換時間を短縮することが可能

### <②順送型プレス加工>

- ・1回のプレスで複雑な形状の部品を作ることができ、高精度でスピーディーな加工が可能
- ・電気自動車の部品、リチウムイオン電池の電極・端子、樹脂インサート部品などを加工

### <③各種溶接加工>

- ・ナット溶接・プロジェクション溶接加工(引張・圧縮試験機を設置しており強度試験も可能)、金属部品のスポット溶接、ブラケット部品のナット溶接、金属部品のプロジェクション溶接、350W YAGレーザー溶接機による薄板板金溶接

### <④二次加工>

- ・自動洗浄機により、脱脂・洗浄も可能
- ・またバレル研磨機により、バリ取りやツヤだしなども可能

単発プレス加工



順送プレス加工



# 1. 豊栄金属工業について (3) 企業・代表者メッセージ

## <豊栄金属工業の企業方針>

金属プレス加工業務を通じて、創造と革新により顧客に満足を与え正しい信念で社会貢献できる企業となる。

- 【品質】 国際規格水準の品質管理体制を基盤に、クレームゼロを目指し、品質不具合の予防と流出防止に努める。
- 【環境】 効果的で効率的な業務の運用と改善への取り組みを通じ、環境負荷の低減と汚染の予防及び環境保護に取り組みます。
- 【安全】 労働安全衛生リスクを管理し、健康で安全な職場環境を提供します。
- 【共通】 品質、環境、安全衛生に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を全社挙げて順守します。
- 【共通】 品質、環境、安全衛生に関するマネジメントシステム及びパフォーマンスを継続的に改善します。

## <代表者メッセージ>



代表取締役社長 山本 一雅

金属プレス加工業務を通じて、創造と革新により顧客に満足を与え正しい信念で社会貢献できる企業となる。

豊栄金属工業は、小物金属プレス製品の加工メーカーとして60年以上の歴史があり、様々な分野の商品に深く関わって来ました。これまで培った技術力を軸に、最適な加工法でお客様に製品を提供させて頂きます。良質な部品をどこよりも早くお客様にお届け出来るように、そして様々な環境問題に配慮したモノづくりを目指し、社員一丸となり日々成長してまいります。

## <品質保証>

高精度な検査機器を揃え、丁寧・厳正な測定検査を実施しております。また、測定機器や製品に影響が出ないように、室温管理をおこなっております。試作段階の精密検査から、量産時、ロット毎の検査までご要望に合わせ、誤差の無い正確な製品を保証いたします。

## <工程管理>

生産管理システムにより、厳正な工程管理をおこなっております。バーコードシステムを導入し、材料から製品ロットの管理、各工程の作業時間、工数管理をしております。品質、納期厳守を保証致します。

# 1. 豊栄金属工業について (4) サステナビリティ・SDGsへの取り組み

## <サステナビリティ・SDGsへの取り組み：同社のSDGs宣言>

項目	関連するSDGs	主な取組み
環境	   	<p>【環境負担軽減への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ISO14001認証に準拠し、継続的な環境負荷低減活動を推進します</li> <li>■ 本社工場のLED化・デマンド管理による電気使用量を削減します</li> <li>■ 梱包資材の再利用や鉄端材のリサイクルを徹底します</li> <li>■ 社用車のハイブリッド車両への切り替えを進めます</li> <li>■ 国土緑化推進機構の【SDGs貢献使途限定募金】を通じて、森林保全・緑化推進事業を後押しします</li> <li>■ 2025年:脱炭素宣言実施</li> </ul>
社会	 	<p>【金属プレス加工を通じた技術の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 迅速な金型交換を可能にするQDC装置の導入により、多品種・少量・短納期対応を実現させ、技術革新と産業基盤の構築に貢献します</li> <li>■ ISO9001認証に準拠し、安全安心な技術提供を約束します</li> </ul> <p>(2015年:大阪ものづくり優良企業賞・守口門真ものづくり元気企業 受賞)</p>
雇用	   	<p>【みんなが働きやすい職場の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全自動ラックの導入により、年齢・性別を問わず円滑に作業ができる体制を構築しています</li> <li>■ 各人の多能工化により、業務を補完し合える職場を目指します</li> <li>■ 有給消化の推進や余暇充実の取組により、メリハリのある労働環境を実現します</li> </ul>
雇用	  	<p>【人材育成とパートナーシップへの貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大阪金属プレス工業会と連携し、プレス技術の講習会や工場見学会、技能検定に積極的に参加し、技術力の向上に努めます</li> <li>■ 地域の人材を積極的に雇用し、地元経済への貢献に取り組みます</li> <li>■ AEDの設置場所として地域への発信と講習会への参加により安全と安心をお届けします</li> </ul>

## 2. インパクトの特定 (1) インパクト分析と目標(KPI)設定について

### <ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)について>

ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が定めたPIF原則に基づくファイナンスである。また当原則は、環境・社会・経済に対し、良い影響(ポジティブインパクト:PI)を増やすビジネスモデルを生み出すと同時に、悪い影響(ネガティブインパクト:NI)を管理するような企業活動やプロジェクトを金融の力で促進するためのガイドラインである。

### <インパクト分析と目標設定について>

PIF原則に基づき、同社事業が環境・社会・経済に対してもたらす良い影響(ポジティブインパクト:PI)と、悪い影響(ネガティブインパクト:NI)を特定し、ポジティブインパクト(PI)を拡大する、またはネガティブインパクト(NI)を抑制する目標(KPI)を設定する。

工程		内容
STEP1	<b>バリューチェーン分析</b>	企業の活動を一連のプロセス(バリューチェーン=価値連鎖)として捉え、それぞれの活動がどのように価値を生み出しているかを分析し、インパクト分析の基礎とする。
STEP2	<b>インパクトマッピング</b>	同社やバリューチェーンの事業をISIC(国際標準産業分類)の事業にあてはめ、UNEP FIのインパクトレーダーを用いて、業種別に一般的に環境・社会・経済に対し与える、ポジティブインパクト(PI)あるいはネガティブインパクト(NI)を確認する。
STEP3	<b>インパクトの特定</b>	STEP1および2、そしてヒアリング結果等から対象企業の事業が社会・環境等にもたらすインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認する。
STEP4	<b>目標(KPI)の設定</b>	ポジティブインパクト(PI)を伸ばす、またはネガティブインパクト(NI)を抑制する目標(KPI)設定を検討する。また目標は、定量的かつ追加的(より野心的)な目標設定を行う。



### <ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書の公表とモニタリング>

目標(KPI)を掲載した本評価書を紀陽銀行がホームページにて公表し、豊栄金属工業が設定した目標に対して、紀陽銀行が進捗管理等のモニタリングを定期的にも実施する。

## 2. インパクトの特定 (2) バリューチェーン分析

### <バリューチェーン分析>

企業の活動を一連のプロセス(バリューチェーン=価値連鎖)として捉え、それぞれの活動がどのように価値を生み出しているかを分析し、インパクト分析の基礎とする。

### <豊栄金属工業のバリューチェーン>

同社は、**精密金型の設計・製作、精密板金部品の製造**といった事業を手掛ける。

同社の強みは、

- ①**技術力と対応力**: 大手電機メーカーとの長年の取引で培った技術力と多品種・小ロットにも対応できる柔軟な対応力を有する。  
(※パナソニックより同社の技術力・対応力が評価され「AVIONICS PARTNERS AWARD2025」を受賞)
- ②**スピード生産**: プレート素材の常時在庫を持ち、金型のスピーディーな製作が可能。また全台QDC(クイック ダイ チェンジ)システムを装着しており、金型交換時間の大幅な短縮により、短納期を実現。
- ③**正確な検査**: 試作・量産時において、三次元計測機・画像測定機による寸法検査で、誤差のない正確な製品を保証。
- ④**他社・海外製の金型に対応**: 同社は、サプライヤーの廃業や倒産により生産移管先を探さざるを得なくなった事業者に対して、今まで使用していた金型に、若干の改造を加えることで、必要最小限の投資による生産移管の提供が可能。



## 2. インパクトの特定 (3) インパクトマッピング

<マッピング分析> 業種として一般的に社会・経済・環境に対し与える、ポジティブインパクト(PI)あるいはネガティブインパクト(NI)を確認する。



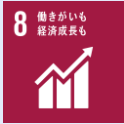
国際標準産業分類による インパクトマッピング			同社の事業				川下に該当する事業								川上に該当する事業							
			C 2593		C 2599		C 2640		C 2670		C 2930		C 2720		C 2599		C 2410		C 2420			
			精密金型製作		金属プレス加工・ 精密板金部品製造		コンシューマー 電子機器製造		光学・写真 機器製造		自動車 部品製造		二次電池 製造		その他金属 部品製造		材料供給 (鉄鋼などの素材)		材料供給 (非鉄金属などの素材)			
大分類	インパクトエリア	インパクトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI		
社会	人格と人の安全保障	紛争																				
		現代奴隷					●●	●●														
		児童労働					●●	●●														
		データプライバシー																				
		自然災害																				
	健康および安全性	健康および安全性		●		●	●	●	●	●		●		●		●		●		●		
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手ごろさ、品質	水																				
		食糧																				
		エネルギー												●●								
		住居	●				●											●				
		健康と衛生																				
		教育																				
		移動手段										●	●									
		情報							●													
		コネクティティ							●●												●	
		文化と伝統																				
	ファイナンス																					
	生計	雇用	●		●		●		●		●		●		●		●		●		●	
賃金		●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	
社会的保護			●		●		●		●		●		●		●		●		●		●	
平等と正義	ジェンダー平等																					
	民族・人権平等																					
	年齢差別																					
	その他の社会的弱者																					
社会経済	強固な制度・平和・安定	法の支配																				
	健全な経済	市民的自由																				
	インフラ	セクターの多様性																				
		零細・中小企業の繁栄	●				●		●		●		●		●				●		●	
経済収束	インフラ	●		●										●		●●		●●		●●		
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		●		●		●		●		●●		●		●		●●		●●		
		水域		●●		●●		●		●		●		●		●●		●●		●●		
	生物多様性と生態系	大気		●		●		●		●		●		●		●		●		●		
		土壌																			●●	
		生物種																				●●
		生息地																				●●
		サーキュラリティ	資源強度		●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●		●●	
	廃棄物		●		●		●●		●●		●		●●		●		●		●		●	

マッピングの「●●」は重要な影響がある項目、「●」は影響がある項目を示す。また同社との関連が薄い項目は網掛けを省略している。

## 2. インパクトの特定 (3) インパクトマッピング

### <詳細なマッピング分析>






同社の事業が属する業種として、一般的に環境・社会・経済に対し与える、ポジティブインパクト(PI)あるいはネガティブインパクト(NI)を前ページにてチェックが入った項目ごとに確認するとともに、関連するSDGs項目の洗い出しを行う。

分類	インパクト	内容	関連SDGs項目
社会	健康および安全性	<p>一般論として、金属部品の製造工程における有害物質の混入等により、自社および購入先の従業員の健康や安全に悪影響を及ぼすというNIが懸念される。</p> <p>※同社は、ISO9001(品質マネジメント)取得済かつ大手メーカーの品質要求を満たすために、品質保証に特に注力している。具体的には、材料の品質や製造工程における安全性を管理するとともに、三次元計測機・画像測定機等を用いた製品検査を実施し、不良品の流出防止を徹底している。また、ISO45001(安全衛生管理マネジメント)に準拠したルールを導入し、従業員の健康・安全に配慮した経営を行い、NIが生じにくい体制を構築している。</p>	
	移動手段 情報 コネクティビティ	<p>マッピング分析上では、同社事業は移動手段・情報・コネクティビティに対して、PI・NIを生じさせない。</p> <p>※しかし同社の川下の事業者である車両部品・航空部品・電子機器製造業等に対し、高品質な部品を提供することにより、同社は間接的に、移動手段・情報・コネクティビティのPIの拡大に貢献している。</p>	
	雇用・賃金	<p>金属部品製造業は、雇用の創出というPIを与える。</p> <p>※同社は、全自動ラックの導入や多能工の推進により、働きやすく、従業員同士が協力し合える環境を整備している。また地域雇用を推進し、雇用面のPIを拡大させている。</p>	

## 2. インパクトの特定 (3) インパクトマッピング

### <詳細なマッピング分析>

同社の事業が属する業種として、一般的に環境・社会・経済に対し与える、ポジティブインパクト(PI)あるいはネガティブインパクト(NI)を前ページにてチェックが入った項目ごとに確認するとともに、関連するSDGs項目の洗い出しを行う。

分類	インパクト	内容	関連SDGs項目
社会 経済	零細・中小企業 の繁栄 インフラ	<p>金属部品製造業は、その部材提供を通じて、製造業など多岐にわたる事業者の発展や、インフラ整備においてPIを与えている。</p> <p>※同社は、培った技術力により高品質な製品を提供している。またサプライヤーの廃業や倒産により生産移管先を探さざるを得なくなった事業者に対して、生産移管先として対応することにより、板金加工の駆け込み寺として、PIを拡大させている。</p>	
自然 環境	気候の安定性・ 水域・大気 資源強度・ 廃棄物	<p>金属部品製造業では、その製造工程や製品の運搬工程等において温室効果ガスを発生させ、気候の安定性に対して、NIが生じる。また製造工程において廃棄物が生じることで、「水域」・「大気」および「資源強度」・「廃棄物」の項目に関して、NIを与える可能性が考えられる。</p> <p>※同社は、ISO14001認証に準拠し、継続的な環境負荷低減活動を推進している。具体的には、本社工場のLED化・デマンド管理による電気使用量の削減、梱包資材の再利用や鉄端材のリサイクルの徹底、社用車のハイブリット車両への切り替えの推進などの取り組みを通じて、同社は環境面のNI抑制に積極的に取り組んでいる。</p>	   

### <検証の省略>

同社の事業に関して、網掛け以外の項目については、同社事業との関係性が薄いことより、検証を省略する。

川上および川下の事業に関しては、上記マッピング分析にて触れた川下の事業者(電子機器・自動車部品・航空部品製造業)以外は、同社の事業活動が与える影響は軽微であり、検証を省略する。

## 2. インパクトの特定 (4) 豊栄金属工業の事業によるインパクトの特定

### <豊栄金属工業の事業によるインパクトの特定>

バリューチェーン分析、マッピング分析、そしてヒアリング結果等から同社の事業が環境・社会・経済にもたらすインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認する。

具体的には同社の事業が、社会・社会経済・自然環境などにもたらすポジティブなインパクトをより拡大する取り組み、またネガティブなインパクトを抑制させる取り組みを特定する。

### <本業による社会・社会経済・自然環境へのポジティブインパクト(PI)・ネガティブインパクト(NI)>

#### 1. 高品質な金属部品製造と板金加工の駆け込み寺として、ものづくりへ貢献する

同社は、金属部品のプレス加工、プレス用精密金型の設計・製作に関して、技術力と対応力を有しており、品質管理にも力を入れている。

また、後継者不在等によるサプライヤーの廃業や倒産により、生産移管先を探さざるを得なくなった事業者が昨今増加してきている。同社は、そのような事業者が今まで使用していた金型に、若干の改造を加えることで、必要最小限の投資による生産移管先として対応している。これは同社が大手メーカーとの取引などで培った技術と積み重ねたノウハウにより、顧客の様々なニーズに対応できるためであり、今後まさに板金加工の駆け込み寺として、生産移管の受託案件も拡大させる計画である。



#### 【駆け込み寺戦略の強み】

- ①通常は、金型を引き継ぐことは難しいが、同社は培った技術力で対応が可能
- ②若干の改造を加えることで、対応可能(改造を抑えることで、必要最小限の投資で可能)



同社は、上記の取り組みを推進することで、社会「移動手段、情報、コネクティビティ」、社会経済「零細・中小企業の繁栄、インフラ」のPI拡大に貢献する。



<金型改造の様子>

## 2. インパクトの特定 (4) 豊栄金属工業の事業によるインパクトの特定

### 2. 単発型プレス加工の中小ロット製造の救世主に

前頁でも説明しているとおり、現在プレス加工業者の廃業・倒産が増えているが、その内訳は、大口のロットに対応する順送型プレス加工業者は生き残っている一方で、単発型プレス加工に対応する事業者は減少の一途をたどっている。

種類	概要/使用する金型	加工速度(生産性)	金型価格/製品1個当たり価格
単発型 プレス加工	一つの金型で1工程のみを行う <b>シンプル な金型</b> 。せん断、打ち抜き、穴あけ、曲げ などの単一の加工工程にのみ使用	複数工程に分かれており、各工程で作業者が付く必要があり、また金型交換も都度必要であるため、 <b>生産性が低い</b> <b>(さらに、人手不足の影響により単発型事業者が減少)</b>	<b>金型価格:安価</b> 形状が順送型金型より単純であるため 製作コストは安価(初期投資抑制可能) <b>製品1個当たり価格:高い</b>
順送型 プレス加工	一つの金型で複数の加工工程を行うこ とができる <b>複雑な形状の金型</b> 。例えば、 曲げ加工と穴あけなど、2つ以上の工程 を一度のプレスで完了させることが可能	連続・自動化された工程が可能。金型交換の必要がなく、 大量の製品を効率的に生産できるため、 <b>生産性が高い</b> 。 つまり、 <b>単発型は作業員1人当たりの生産個数が少なく、 金型交換の手間がかかるが、順送型は自動化されている ため、高速で大量生産が可能</b>	<b>金型価格:高価</b> 順送プレス金型は複数工程を同時に 行えるため、単発型金型に比べて形状 が複雑になり、製作コストも高くなる <b>製品1個当たり価格:安い</b>

同社は、順送型プレス加工も対応可能であるが、特に金型作成の初期費用を抑えることが可能な単発型プレス加工を得意としている。単発型プレス加工業者が減少する中、**同社は中小ロットへ対応可能な事業者として存在価値を高めていく。**

また今後業界として伸びていくデータセンターや耐火住宅向けの部品などは、まだ業界標準が定まりきっていない等の理由で、大量生産ではなく、中小ロットのニーズが高い。

同社は、**業界の救世主として、単発型プレス加工の中小ロット・ニーズに対応**する。



同社は、上記取り組みを推進することで、社会「**移動手段、情報、コネクティビティ**」、社会経済「**零細・中小企業の繁栄、インフラ**」のPI拡大に貢献する。



## 2. インパクトの特定 (4) 豊栄金属工業の事業によるインパクトの特定

### 3. 環境に配慮した製造と経営

同社は、SDGs宣言の中で、

ISO14001認証に準拠し、継続的な環境負荷低減活動を推進するとしている。具体的には、本社工場のLED化・デマンド管理による電気使用量の削減、梱包資材の再利用や鉄端材のリサイクルの徹底、社用車のハイブリッド車両への切り替えの推進などを通じて、同社は環境面のNI抑制に積極的に取り組むとしている。

上記に加えて、今後の具体的な取り組みとして

本業に関する一番の環境負荷軽減は不良品の削減であり、**今後、毎年不良品の発生率を10%低減する。**※不良品は、材料コストや製造にかかる電気代の増加を招くほか、廃棄物を発生させる。



同社の環境面の取り組みは、**自然環境の「気候の安定性、廃棄物」のNI抑制に貢献**する。

#### 【製造・検査体制の強化】



### 4. 働きやすい環境整備と若年者雇用の推進

同社は、すべての従業員が働きやすい環境の実現を目指している。具体的には、全自動ラックの導入や多能工の推進などの施策により、従業員同士が協力し合える職場環境の整備に取り組む。加えて、地域の雇用も促進することで、今後は若手雇用による技術伝承を含め、下記の取り組みを推進する。

- ①パート社員の積極的な正社員登用／スキルチェンジ推進
- ②新規採用・キャリアアップ支援



同社の雇用面の取り組みは、**社会「雇用」のPI拡大に貢献**する。

#### 【職場の様子】



## 2. インパクトの特定 (5) 日本におけるインパクトニーズの確認

### <日本におけるインパクトニーズの確認>

同社のインパクトの特定、目標(KPI)の設定にあたり、日本におけるインパクトニーズを確認して、同社事業との関係性を確認する。同社の売上高の大半が日本国内におけるものであるため、国内におけるSDGsインデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと、同社のインパクトとの関係性を確認した。

本PIF において特定したインパクトに対応するSDGs のゴールは、以下の3点である。「8. 働きがいも経済成長も」「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「13. 気候変動に具体的な対策を」。

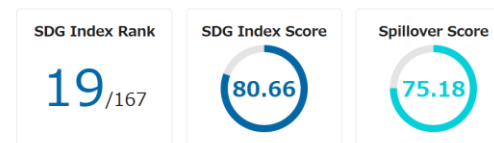
右図の日本国内におけるSDGsダッシュボード上では、「8」「9」は「課題が残る」「大きな課題が残る」、「12」「13」に関しては「重要な課題が残る」とされており、同社の社会に貢献する金属製品製造や環境や従業員に配慮した事業活動が、国内のインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

Japan

OECD member



BACK OVERVIEW INDICATORS FACT SHEET POLICY EFFORTS



### SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



Dashboards: ● SDG achieved ● Challenges remain ● Significant challenges remain ● Major challenges remain ● Information unavailable  
Trends: ↑ On track or maintaining SDG achievement ↗ Moderately improving → Stagnating ↓ Decreasing ↔ Trend information unavailable

### <大阪府におけるインパクトニーズの確認>

大阪府の環境総合計画等の施策と、同社の活動に関して、整合性があり、地域の課題・ニーズに合致した活動と判断できる。

### <紀陽銀行が認識する社会課題との整合性>

紀陽フィナンシャルグループは、サステナビリティ基本方針として、『経営理念である「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」の実現に向け、あらゆる企業活動において、地域経済の成長と社会課題の解決に貢献します。ステークホルダー(地域社会・顧客・株主・従業員等)と当行グループ双方にとって重要な課題をマテリアリティ(重要課題)として設定し、中長期的な観点から経営と一体化した取組を推進します。』と定めている。

本評価書で特定した同社の「8」「9」「12」「13」のインパクトは、紀陽フィナンシャルグループのサステナビリティ基本方針や重要課題と照らしても、全体的に整合的である。

出典: <https://dashboards.sdgindex.org/profiles/japan>

### 3. 目標(KPI)設定について (1)目標(KPI)設定

#### <目標(KPI)設定>

ここでは、①特定した同社事業による社会・経済・環境に対するインパクト(P12～P14)が、どのような影響をもたらすかという状況を今後も測定可能なものにするため、また②ポジティブインパクト(PI)の拡大、ネガティブインパクト(NI)の抑制が適切になされるかを評価するため、特定したインパクトに対し、それぞれ(目標)KPIを設定する。

分類	インパクト項目	関連するSDGs項目	取り組み	目標(KPI)
社会・社会経済	<p>【PI拡大】</p> <p>「移動手段・情報・コネクティビティ」</p> <p>「零細・中小企業の繁栄」</p> <p>「インフラ」</p>		<p><b>高品質な金属部品製造と板金加工の駆け込み寺戦略、および単発プレス加工の新規受注により売上を伸ばす</b></p> <p>&lt;目標達成に向けた対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駆け込み寺戦略推進(他の事業者が使用していた金型に改造を加えることで、必要最小限の投資による生産移管に対応する)</li> <li>・部品メーカーへの提案営業の強化</li> <li>・新規需要取込み</li> </ul>	<p><b>2030年11月期までに、板金加工(新規受注)分野での売上:6千万円</b></p> <p>(2025年11月期:新規受注2千万円)</p>
自然環境	<p>【NI抑制】</p> <p>「気候の安定性」</p> <p>「廃棄物」</p>	 	<p><b>環境負荷軽減に向けた取り組みの推進(不良品の削減により、材料・エネルギー等の無駄を抑制する)</b></p> <p>&lt;目標達成に向けた対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造工程の改善</li> <li>・検査体制の強化</li> </ul>	<p><b>2030年11月期まで、毎期、不良品の発生率について、前期比10%削減を継続</b></p> <p>(2025年11月期:年間生産数量 約1,600万個 不良品率 0.0375%)</p>
社会	<p>【PI拡大】</p> <p>「雇用」</p>		<p><b>従業員の新規雇用および従業員教育の推進</b></p> <p>&lt;目標達成に向けた対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な従業員の方が働きやすい制度の整備</li> <li>・従業員の資格取得の推進</li> </ul>	<p><b>2030年11月期までに従業員数を36名に増員</b></p> <p>(2025年11月末時点:従業員31名)</p>

### 3. 目標(KPI)設定について (2)目標(KPI)の野心性・追加性確認およびモニタリング

#### <目標(KPI)の野心性・追加性の確認>

豊栄金属工業が、本件PIFにかかる目標(KPI)の設定については、

- ①本業面、環境面、雇用面の設定となっており、バランスの取れた設定となっている。
- ②野心性・追加性についても、実績値を上回る設定を行っており、野心性・追加性について十分であると確認している。

#### <豊栄金属工業におけるインパクト管理体制>

豊栄金属工業では、代表者(山本 一雅)が中心となり自社業務や事業計画などの棚卸を行い、本PIFにおけるインパクトの特定並びにKPIの策定を行った。

今後についても、代表者を中心にSDGsの推進並びに本PIFで策定したKPIの管理を行っていく方針である。

#### 【モニタリング責任者】

代表取締役 山本 一雅

#### <紀陽銀行によるモニタリング>

本PIFで設定したKPIおよび進捗状況については、同社と紀陽銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年1回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

モニタリング期限:2031年4月